

課題

【知識及び技能】

「言葉の特徴や使い方に関する事項」

- 文脈に即して正しく漢字を書き、語句を文章の中で使うようにすること。
- 語句の辞書的な意味を踏まえ、文脈上の意味を捉えること。

【思考力、判断力、表現力等】

「話すこと・聞くこと」

- 必要に応じて質問をしながら話の内容を捉えること。

「書くこと」

- 書いた文章について、読み手からの助言を踏まえ、よい点や改善点を見出すこと。

「読むこと」

- 文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにする。

改善の方向

○各学年の語彙の指導事項の内容と関連付け、音訓を意識し、同音異義語などの意味の違いに注意するなどして、漢字を正しく使うことができるようになる学習活動の充実。

○語句の辞書的な意味を踏まえ、文脈における意味を具体的かつ個別的に捉えて、その語句が文や段落においてどのような役割を果たしているかを考える学習活動の充実。

○何のために、どのような状況で話を聞いているのかを意識した上で、話し手が伝えたいことを確かめたり、分からないことや知りたいことを効果的に質問したりする学習活動の充実。

○読み手からの感想や助言を基に、自分の文章を振り返り、よい点や改善点を見出し、次の書く活動にどのように生かすかを考える学習活動の充実。

○具体的な場面を思い浮かべ、「構造と内容の把握」や「精査・解釈」の学習過程を通して理解したことを、常に確かめながら考えを形成していく学習活動の充実。

課題

【数と式】

- 問題場面における考察の対象を明確に捉えること。
- 事柄が成り立つ理由を、文字を使って説明するための方針を立てること。
- 統合的・発展的に考え、事柄の特徴を数学的な表現を用いて説明すること。

【図形】

- 具体的な事象において、考察の対象となる角を的確に捉えること。
- 具体的な事象を基に、証明する事柄の仮定を見出すこと。

【関数】

- 反比例の関係を表す表の特徴を捉えて、 x の値に対応する y の値を求めること。
- 与えられた表やグラフから、必要な情報を適切に読み取ること。

【データの活用】

- 起こり得る場合を樹形図や二次元の表を利用するなどして整理し、確率を求めること。
- 累積度数の意味を理解すること。

改善の方向

- ある数を基に予想した事柄が成り立つかどうかを具体的な数で改めて確かめることで、考察の対象を明確に捉えることができる場面の設定。
- 予想した事柄がいつでも成り立つことを説明するための方針を立てる学習活動の充実。
- 数の性質について、成り立つ事柄を予想し、その特徴を数学的に説明する学習活動の充実。
- 考察の対象となる辺や角の関係を的確に捉え、数値や式で表す学習活動の充実。
- 図形の性質を証明する場面において、与えられた条件や示された図から証明する事柄の仮定と結論を明らかにし、数学的に表現する学習活動の充実。
- 表、式、グラフなどの「用いるもの」と、それらの「用い方」について考え、数学的な表現を用いて説明する学習活動の充実。
- 起こり得る全ての場合を数え上げ、それを基にして確率を求める学習活動の充実。
- 累積度数などの用語の意味の理解を深める学習活動の充実。

課題

●「聞くこと」

日常的な話題に関する内容を聞き、概要を捉えること。

●「読むこと」

日常的な話題に関する内容を読み、自分の置かれた状況などから判断して、必要な情報を読み取ること。

●「話すこと」【やり取り】

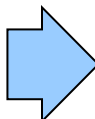
日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、まとまりのある内容を話すこと。

●「話すこと」【発表】

日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、まとまりのある内容を話すこと。

●「書くこと」

社会的な話題に関する内容を読み、要点を捉え、考えとその理由を書くこと。



改善の方向

○英語で聞く前の準備、聞きながら整理する力、聞いた後の確認、という各段階のポイントに目を向けた丁寧な指導と、細部に捉われずに内容の概要を捉える力の育成。

○読み手としての目的や状況を明確に把握してから読む習慣の育成。また、複数の情報を相互に関連付けながら判断、決定する情報活用能力の向上。

○英語の語彙や表現、文法、言語の働きなどの知識を、話すことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を伸ばす学習の充実。

○日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、まとまりのある内容を即興で話すことができる力を伸ばす学習の充実。

○「読む（要点の把握）」→「考える」→「根拠（理由）を集める」→「書く」という思考のプロセスを段階的に指導することで論理的な文章構成の型を習得させるとともに、社会的な知識や自分自身の考えを言語化する対話的な活動を取り入れることで、説得力のある記述力を育成。